

# 週刊センターニュース No.148



第148号(2007年3月5日) 毎週月曜日発行  
発行：金沢大学 大学教育開発・支援センター  
URL：[http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou\\_rche/index.htm](http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm)

## 新聞報道にみる「ファカルティ・ディベロップメント(FD)の義務化」

昨今の高等教育改革における注目すべきトピックとして、FDの義務化に関するものが挙げられます。

FDとは、大学教育の改善に向けた「教員団」による組織的取組を指すもの、と一般に解されています。FDは、既に、専門職学位課程(専門職大学院)に対しては実施が法的に義務付けられており、大学院課程でも、平成19年4月より、その実施が法的に義務づけられることになっています。

今次のFDに係る高等教育改革の動きは、学士課程(学部教育課程)でこれまで努力義務であったものを、法的義務にまで高めようとするもので、具体的には、大学設置基準を改正し、FDを法的義務とすることを内容とする規定を新設しようとするものです。

こうした点について、平成18年10月21日付毎日新聞(夕刊)は、「文部科学省は大学・短大教員の講義のレベルアップのため、全大学に教員への研修を義務づける方針を固めた。来年度に大学設置基準と短期大学設置基準を改正し、早ければ08年4月にも義務化する」と報道しています。

FD義務化の理由・背景として、上記毎日新聞は、「各大学で現在行われているFDの内容は講演会の開催や研修会、授業内容の検討会など座学中心で、実効性や効果を疑問視する声がある」ことや「大学全入時代を控え、経済界には『企業で戦力として使える人材となるように教育してほしい』と、大学教育の充実を求める声も強い」ことなどを挙げています。また、平成19年1月6日付日本経済新聞(朝刊)は、大学教育充実への取組の徹底を図る上でFD義務化の必要性に言及したほか、わが国大学のFDの現状として「実際には研修会への教員の出席率が極端に低く、授業の改善が必要な教員が参加しないなど大学全体の教育水準の向上にはつながっていないケースも多い」ことなどを挙げています。

義務化の対象となるFDの中身については、上記毎日新聞は、「具体的な研修内容は中教審で審議されるが、各大学ごとに建学の精神や求められる教員像が異なっており、『統一のガイドライン作成は慎重にすべきだ』という声もある」と報道しています。

FDの義務化に当たり、中教審サイドでは、FD推進の核となる専門スタッフの不足が懸念要因として認識されているようで、その解決策として、平成18年12月17日付朝日新聞(朝刊)は、「専門スタッフ養成のための海外研修や、一部の大学が持っている教員教育施設の他大学への開放などへの財政面での支援を検討する」、平成19年1月5日付産経新聞(朝刊)は、国立大学のうち相当数の大学が「大学教育センター」を設置しているとした上で、「文部科学省では、国立大学を中心に設置されている同様のセンターをFDの拠点として積極的に支援していくことを今後、検討する」などと報じています。

(文責：評価システム研究部門 早田 幸政)

## センター図書室 新着図書情報 (2)

大学教育開発・支援センター図書室（総合教育棟南棟 6 階 613 号室、センター共同室の向かい側です）に、以下の図書が入りました。是非ご活用下さい。

### 【大学教育論・カリキュラム】

- ・ TA実践ガイドブック(高等教育シリーズ ; 139) / 小笠原正明, 西森敏之, 瀬名波栄潤編 : 玉川大学出版部, 2006 年
- ・ 大学力 / 有本章・北垣郁雄編著: ミネルヴァ書房 : 2006 年
- ・ 初年次教育 / 濱名篤・川嶋太津夫編著: 歴史・理論・実践と世界の動向 : 丸善: 2006 年
- ・ 大学は歴史の思想で変わる: FD・評価・私学 / 寺崎昌男著: 東信堂 : 2006 年
- ・ 学士課程教育の改革(講座「21 世紀の大学・高等教育を考える」: 第 3 巻) / 絹川正吉, 館昭編著: 東信堂 : 2004 年
- ・ リベラルアーツ・カレッジ : 繁栄か, 生き残りか, 危機か / デイヴィッド・W・ブレネマン著 ; 宮田敏近訳: 玉川大学出版部 , 1996 年
- ・ 大学論:アメリカ・イギリス・ドイツ / (高等教育シリーズ : 134) / エイブラハム・フレックスナー著 ; 坂本辰朗 [ほか] 訳: 玉川大学出版部 : 2005 年
- ・ 大学カリキュラムの再編成:これからの学士教育 / 清水畏三, 井門富二夫編: 玉川大学出版部 , 1997 年

### 【大学改革】

- ・ 大学改革の社会学(高等教育シリーズ : 136) / 天野郁夫著: 玉川大学出版部 : 2006 年
- ・ 大学改革の海図 (高等教育シリーズ : 133) / 矢野眞和著: 玉川大学出版部: 2005 年
- ・ 大学改革 : 秩序の崩壊と再編/ 天野郁夫著: 東京大学出版会 : 2004 年
- ・ 戦後日本の高等教育改革政策:「教養教育」の構築(高等教育シリーズ : 135) / 土持ゲーリー法一著 : 玉川大学出版部 : 2006 年
- ・ 大学院の改革(講座「21 世紀の大学・高等教育を考える」: 第 4 巻) / 江原武一, 馬越徹編著: 東信堂 : 2004 年
- ・ 大学の管理運営改革 : 日本の行方と諸外国の動向/ 江原武一, 杉本均編著: 東信堂 : 2005 年

### 【その他】

- ・ 大学行政論 1 / 川本八郎, 近森節子編: 東信堂 : 2006 年
- ・ 大学行政論 2 / 川本八郎, 伊藤昇編著: 東信堂 : 2006 年
- ・ 商業化する大学 / デレック・ボック著 ; 宮田由紀夫訳(高等教育シリーズ:127) : 玉川大学出版部 : 2004 年
- ・ 大学評価の展開(講座「21 世紀の大学・高等教育を考える」: 第 2 巻) / 山野井敦徳, 清水一彦編著: 東信堂 : 2004 年

## センターからのお願い

センターニュースで取り上げてほしいテーマを募集します。また、センターニュースを読んでのご感想や、当センターへのご要望などをメールにてお寄せください。

さらにセンターでは、共同学習会の話題提供、ランチョンセミナー担当も随時募集しておりますのでご連絡ください。info-rche@ge.kanazawa-u.ac.jp までお願いいたします。